



2



4

■ND C 9 0 9 昭和40年 4 9 8 P 2 2 ・ 5 cm 小学館版

少年少女世界の名作文学／第12巻／アメリカ編3

■昭和40年6月20日発行

■少年少女世界の名作文学／第12巻／アメリカ編3

■ドム＝ソーヤーの冒険／王子とこじき／はねがえる／リーマスおじさん

■定価／四八〇円

■編者／◎名作選定委員会 ■発行者／相賀徹夫

■発行所／株式会社小学館 東京都千代田区神田一ツ橋二ノ五

■電話／東京(263)二一一一 ■振替／東京二〇〇番

■印刷・製本／大日本印刷株式会社

■本文用紙／本州製紙株式会社

■表紙クロス／東洋クロス株式会社

執筆者紹介

打木村治／明治37年 埼玉県に生まれる。日本文芸家協会会員、日本児童文芸家協理事、昭和32年小学館児童文学賞を受く。主な著書に、生きている山脈、雲の階段、支流を集めて、春の門、十六歳
上田健次郎／明治35年 東京に生まれる。日本児童文芸家協会会員、主な著書に、少年少女世界の旅(カナダ編)愛の学校、嵐の中の少女
森いたる 大正2年 静岡県に生まれる。日本児童文芸家協会会員、ユーモア作家クラブ会員、主な著書に、私のグチ日記、チコトン通信
柏木ひとみ／大正14年 東京に生まれる。日本児童文芸家協会会員、主な著書に、グリム童話、明日は知らない

少年少女世界の名作文学—12

アメリカ編 3

トム＝ソーヤーの冒険・王子とこじき

マーク・トウェイン原作

はねがえる・リーマスおじさん

J・C・ハリス原作

谷崎精二編



小学館

はじめに……

谷崎 精二

アメリカの少年文学の作家のなかでも、ことに有名なマーク・トウェインと、J・C・ハリスの作品が、この本に収められています。

『王子とこじき』『トム・ソーヤーの冒険』は、マーク・トウェインの作品のなかでもっとも多く読まれている小説です。日本にも昔から少年少女の読み物はありましたが、それはだいたいこどもだけのもので、おとな向きではありません。だが、外国のすぐれた少年文学は、こどもの物語であるとともに、おとなの興味をひく物語です。おとなになってから考える問題が、そこにふくまれています。

おとなになるといろいろの仕事があつて、あくせくとその日の生活に追われがちですが、こどもの世界はもつと自由です。こどもは星や花にも話しかけることができます。鳥やけものとも友だちになり、その生活を知ることができます。

『リーマスおじさん』の話は、そうしたこどもが感じた動物の世界の話です。そして動物の世界を知るとは、動物を愛し、いたわる気持ちで、少年の心に植えつけます。だんだん文明が進むと、こどもたちが鳥やけものに親しむ機会がなくなります。だが、鳥もけものも、小さな虫一匹でも、人間と同じく楽しく生きる権利を持っているのです。わたしたちは、すべての生き物を愛して、ともに生きようではありませんか。



トム＝ソーヤーの
冒険

「トム、ほくにすこしやらせてくれないか？」
「だめだね、ベン。これは芸術的な仕事だから、うまく仕上
げられるのは、このトム＝ソーヤー—いがいにはいないのさ。」

31ページを、ごらんください。



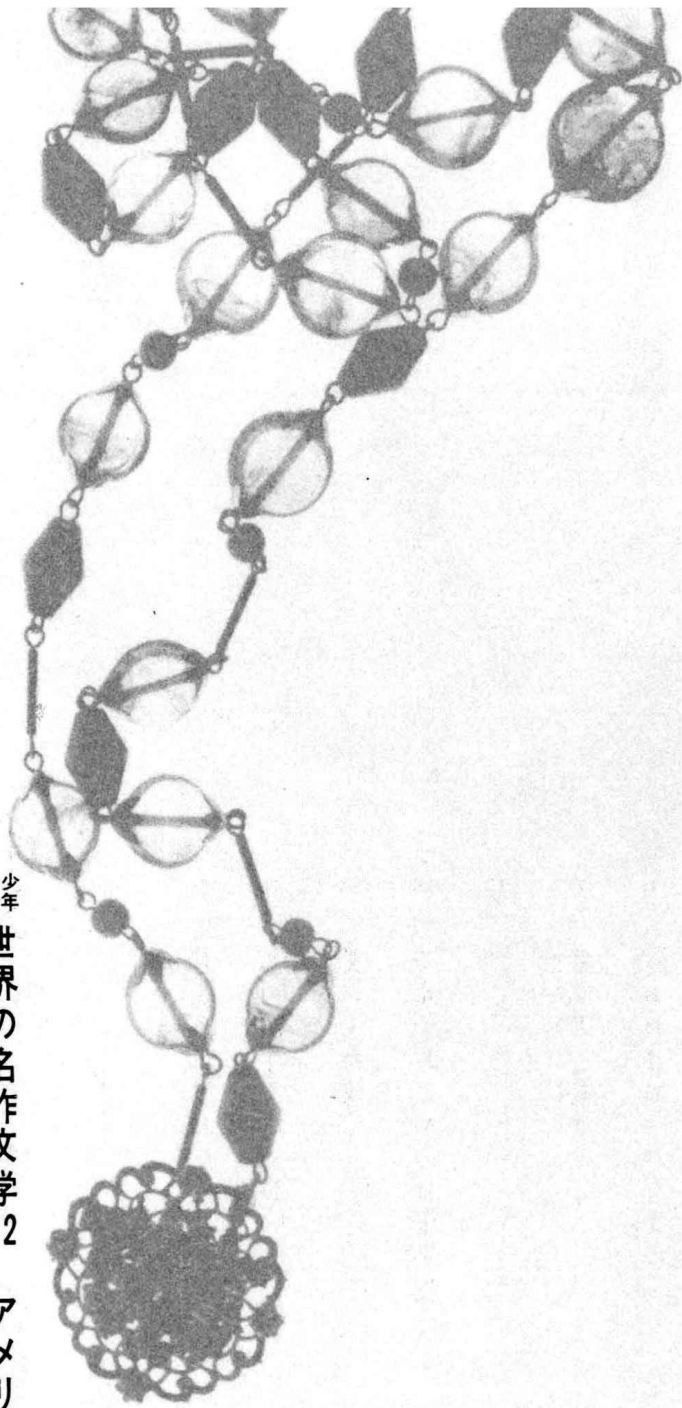
王子とこじき

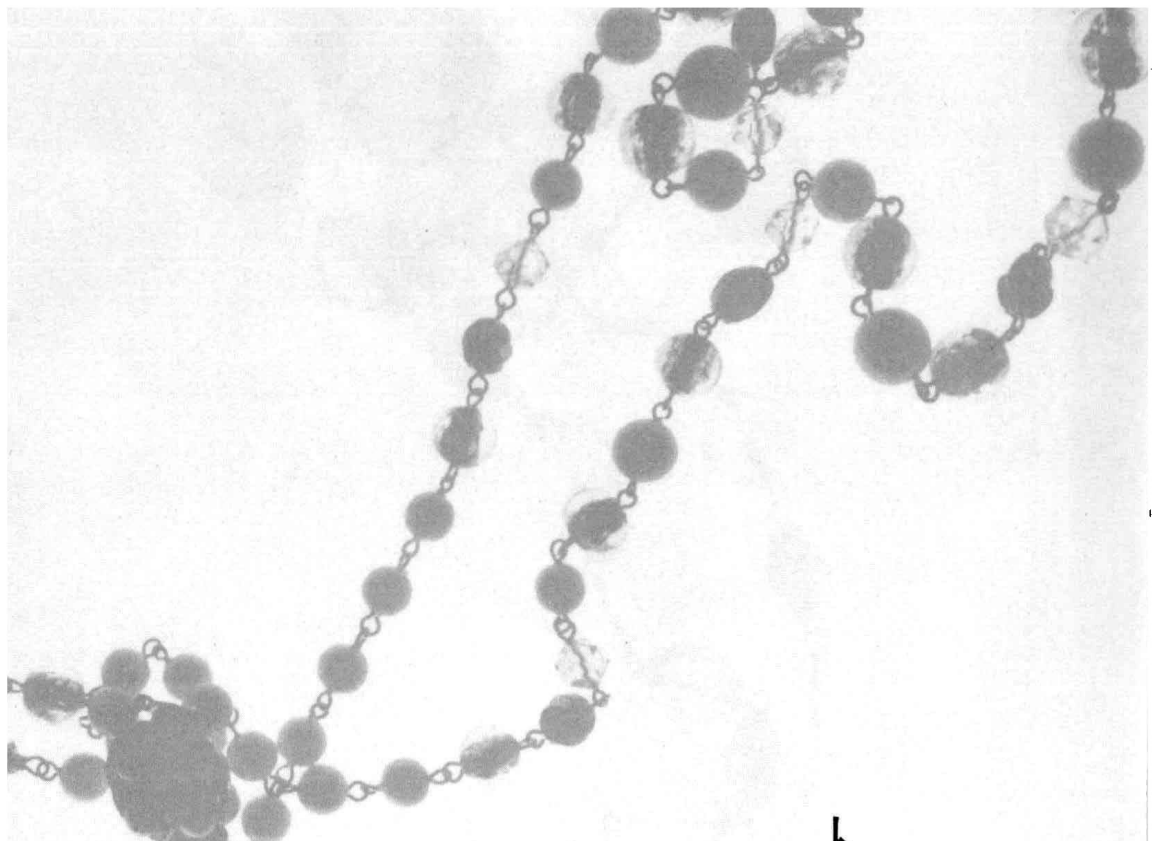
美しくはなやかな皇太子のバレードが進む。突然群集の中から、「おお、わたしのトム！」といってひとりの婦人が皇太子にかけよった。皇太子はその顔を見て思わず、はっとした。

402ページをごらんください。

もくじ

少年少女 世界の名作文学 12 アメリカ編 3





はじめに……………2

トムソーヤの冒険^{ぼうけん}

マーク・トウェイン^{マーク・トウエイン}作……………15

(一) トムは、じぶんをしばらない……………17

(二) 珍無類^{ちんむるい}のペンキ塗り……………25

(三) 愛^{あい}のふた葉……………38

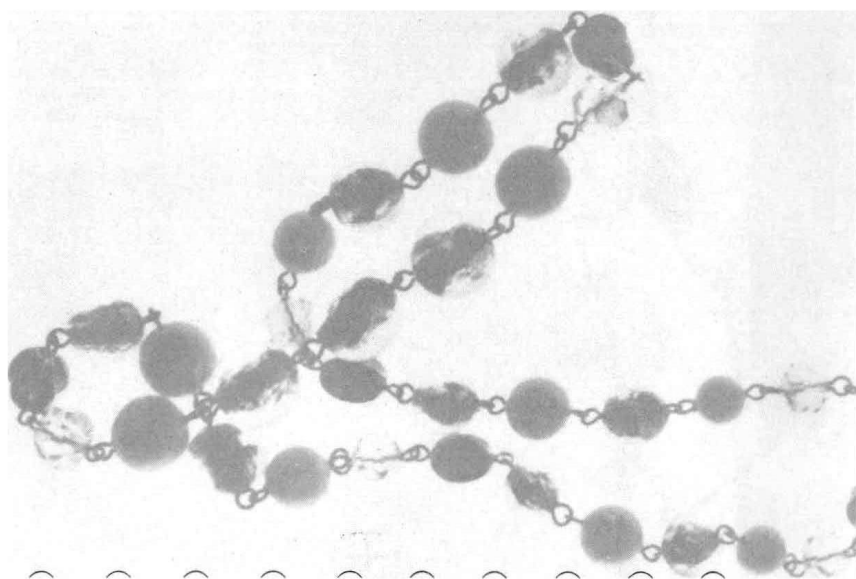
(四) てんやわんやの日曜^{にちよう}学校……………46

(五) 「はさみむし」とむく犬……………57

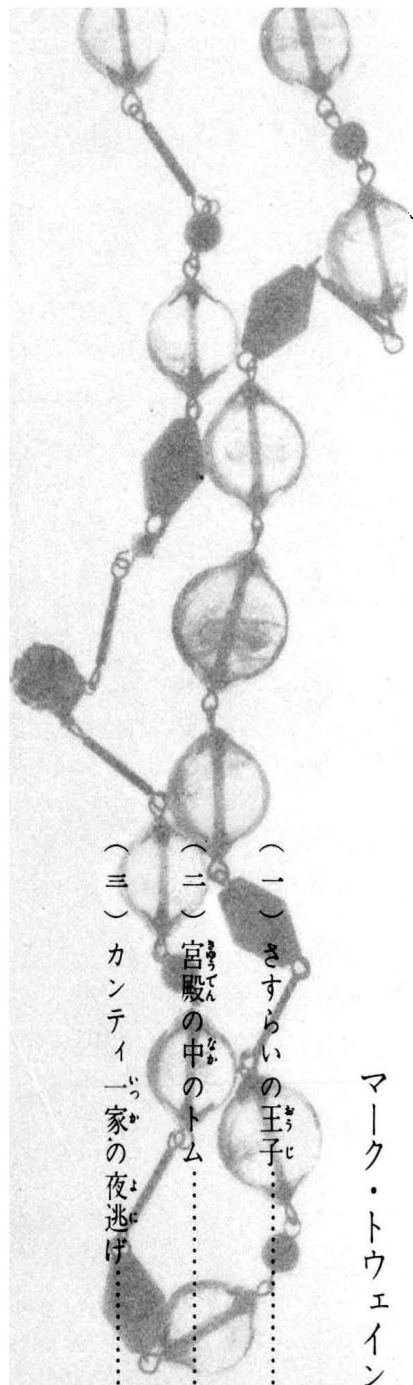
(六) 無気味^{ぶきみ}な約束……………65

(七) 隣^{となり}あわせになった女^{おんな}の子……………76

(八) 深夜^{しんや}の墓地……………89



(九)	やぶの中の目撃者	97
(十)	トムの良心	106
(十一)	口の中の火事	116
(十二)	三匹の豆海賊	122
(十三)	密林の生活	130
(十四)	ちんぴら密航者	138
(十五)	金曜日の夜	150
(十六)	町いちばんの葬式	158
(十七)	やさしいうそ	168
(十八)	ベッキーのいった最後のことば	179
(十九)	夏休み	187
(二十)	トムの底力	194



王子とこじき

マーク・トウエイン作……………263

(一) さすらいの王子……………265

(二) 宮殿の中のトム……………280

(三) カンティ一家の夜逃げ……………291

(三十二) 幽霊屋敷の二階で……………203

(三十三) 二号室の冒険……………212

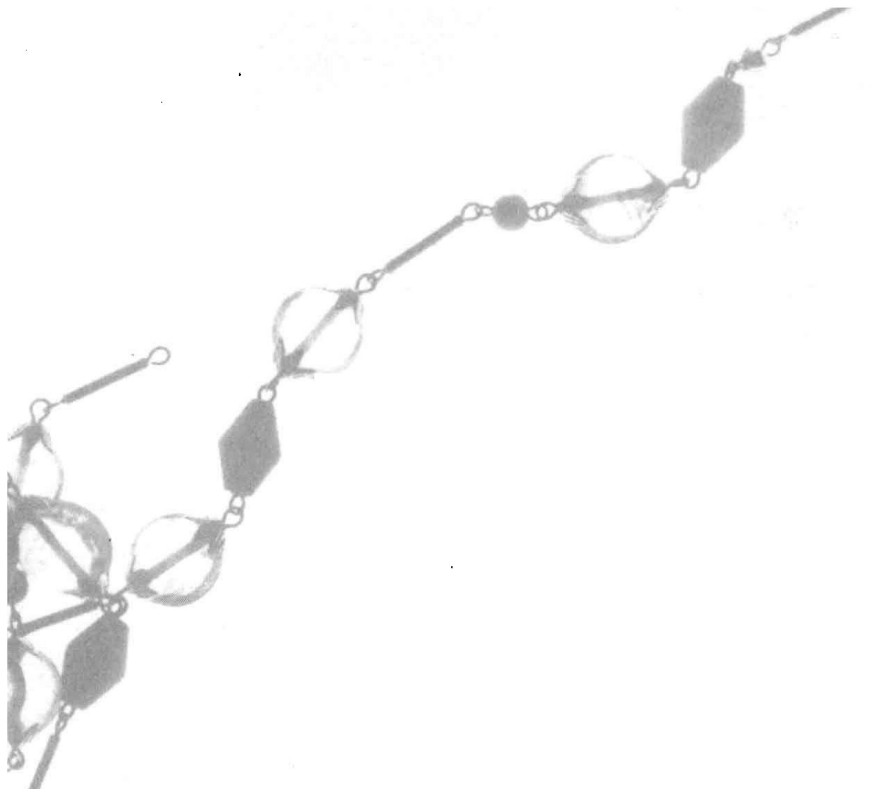
(三十三) なぞの人物……………221

(三十四) 町はひっくり返った……………229

(三十五) ろうそくを持った地獄の鬼……………241

(三十六) ダグラス邸の大宴会……………253

(四)	にせ王子の命令……	300
(五)	見えなくなつた王子……	304
(六)	たたかれ役の少年……	313
(七)	王さまの四日め……	323
(八)	フーファー第一世……	333
(九)	逃げだした王さま……	342
(十)	ふたりの少女……	349
(十一)	悪だくみ……	366
(十二)	とらわれた国王……	373
(十三)	ロンドンへ……	385
(十四)	母親の顔……	398
(十五)	ほんとうの戴冠式……	405
(十六)	正しい報い……	417



はねがえる

マーク・トウエイン作……………427

(一) おかしな手紙……………429

(二) かけごとの天才……………433

(三) 知恵は泉のように……………438

(四) 上には上がある……………446

リーマスおじさん

J・C・ハリス作……………453

(一) きつねがだまされて

馬になった話……………455

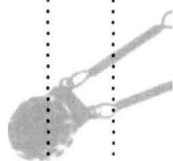
読書のてびき 関

英雄

表紙絵解説 伊藤

廉

角 三 山 米



490

488

482

478

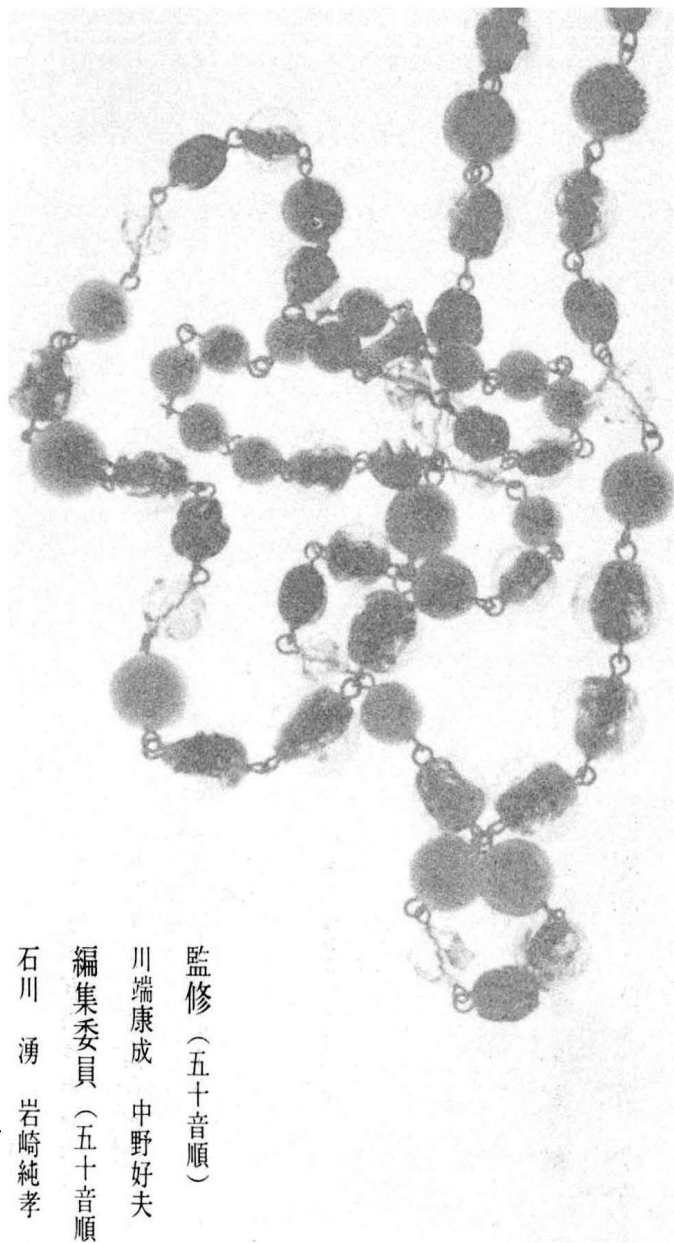
476

472

468

465

461



監修（五十音順）

川端康成 中野好夫 浜田廣介

編集委員（五十音順）

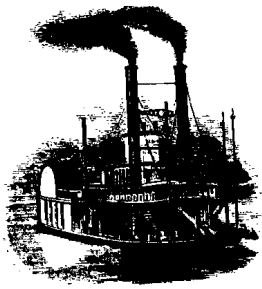
石川 湧 岩崎純孝 植田敏郎 魚返善雄

阪本一郎 関 英雄 奈街三郎 滑川道夫

福井研介 村岡花子 山室 静 彌吉光長

ブックデザイン

A・D 沢田重隆 D 坂野 豊



アメリカ編^{へん}

3

トムソーヤの冒険^{ぼうけん}

マーク・トウェイン^{げんさく} 原作／打木村治^{うちきむらじ} 訳・文^{やくぶん}